

鴨川運輸区新設 提案 弾劾! 勝浦運転区廃止 提案 未だ!

着工のわずか数 日前に「提案」

五月二十五日、千葉支社は、今月末に、「鴨川運輸区」新設に向けた工事に着工するとの提案を行なってきた。新設時期は、「今年度ダイ改時」とされている。しかも、合わせて勝浦運転区の廃止が提案されている。断じて許すことはできない!

そもそも、これまで、昨年十二月から測量を始めていながら完全に箱口令を敷き、わずか一カ月前(四月十日)に提案された「経営計画」でも一切明らかにならず、何と五月二十五日になつてから、「五月末に着工する」などというやり方事態が全く異常極まりないと言う他ない。

運輸区新設の根拠も一切答えず

しかも、この日の団体交渉では、組合側より、勝浦運転区を廃止し、鴨川に運輸区を設置する根拠一体どこにあるのかを質したが、それには一切答えないのである。まさに、頭の天辺から爪先まで、全てが異常極まりないやり方だ!こんなことをまかり通らすことは絶対にできない。こんな計画は粉砕あるのみである。

四月には決まっていた いなかつた?

組 「鴨川運輸区新設」という問題については、昨年秋季以来様々なかたちでうわさに登るようになり、何度となく組合側から、質してきてきた。しかし、会社側は、箱口令を敷いて一切何も明らかにしないという対応を続けてきた。しかも、四月十日提案の支社経営計画にも一切触れられていない。しかし、その一方で測量が進められ、京葉運輸区では、JR総連役員と区当局が一体となつて、鴨川への転働をつのるという事態が起きていた。それでも会社側は、「何も言えない」という対応を続けてきた。

そして、着工のわずか数日前になつて「提案」などというのはあまりに異常過ぎる。一体、どのような理由で隠し続けたのか、まずその経緯から明らかにせよ。

当 予算面も含め、一応説明できる段階になつたから明らかした。経営計画作成時点では不確実要素があつたから入れなかつた。

組 そんなことはありえない。いい加減な言い方は止めよ。計画をつくり、予算を要求し業者と折衝し、庁舎の設計図をつくり、等々のそんな短期間で決まるはずは絶対にあり得ない。

当 予算面も含め、経営計画の時点では何ら決定されていなかった。

組 今年度、しかも5月の時点で新たな基地の着工をするという、莫大な金額にのぼる予算が、本社も含め、今年度の事業計画を策定する時点で、組まれていないなどというところがありえるはずはない。

組 冗談ではない。そもそも、昨年十二月の時点ですでに、測量が始まつていたではないか。このことを組合側から質したときも、当初の段階では「測量なんかやっていると聞いてるか?」と誤魔化し、最近、「一体何を目的とした測量なのか」と質したときも、一切口を噤んでしまふというふざけた対応をしてきたのは一体何だったのか。

当 ……

組 そもそも、今年の段階で、安房鴨川に詰所がある車両整備会社の人々が、「ここに運輸区ができる」と言っていたのは、一体何だったのか。

当 ……

組 庁舎の設計図をつくり、業者と打合せするだけでも相当な時間がかかるはずではないか

(次号につづく)

後は押し黙つた まま開き直る!



大署名運動 起る